

社会で求められている力

新しい年を迎え、短いけれど楽しみの多かった冬休みを終えた子どもたちが学校に帰ってきました。

今の学年で学校に通う日は一月初日から数えて55日。全体のおよそ四分の一を残すのみとなりました。一日少ない6年生は54から卒業へのカウントダウンが既に始まっています。

一方、コロナの第三波は、今まさに猛威を振るっています。このような状況でも警戒心が当初に比べて弱くなっていないかと心配です。「まさか自分の所には・・・。」という思い込みを振り払わなければいけないと、自らに言い聞かせています。

学校でも、とにかくリスクの回避に努めます。子どもたちにも、がまんしてもらおうと出てくるだろうと思いますが、御理解と御協力をお願いいたします。

「人権教育」「情報教育」「環境教育」など・・・学校に課せられた教育は、教科以外にも多岐にわたっています。

その「〇〇教育」のひとつに「キャリア教育」があります。この言葉が登場してまだ、20年くらいですが、今や「キャリア教育」こそが小中高校を貫く教育の柱だというところさえあります。

これまでも「職業教育」という言葉があったわけですが、今は職業も生き方も多種多様。今の仕事に就くかだけでなく、どう生きるかも含めて考えさせ、社会的に自立する力を育てることが目標とされています。

このような流れから、高校生や中学生のインターンシップや、いろいろな分野の方からキャリアの話聞くワークショップなどが盛んに行われるようになってきました。

焼酎メーカー日本一の霧島

酒造の人事担当者は「弊社が採用時に大切にしているのは、高校生でも大学生でも「〇〇」「〇〇」と「〇〇」です。あとは会社が育てます。」ときっぱり。

別の会社で話を聞いても「〇〇」が共通していたので、びっくりしました。それは・・・

「あいさつ」

「元気(健康)」

「素直さ」

仕事に必要な専門知識や技術も、この3つを備えた人材は必ず伸びるそうです。すべての職業に当てはまるわけではありませんが、社会で自立していくための大切な資質だと納得しました。これこそ「小学生のうち育てたい。」と改めて強く感じました。

今は形だけでも、いつか意味が分かります。やらせてみましょう。言ってみせましょう。繰り返していきましょう。子どもの未来のために。

コロナへの体制強化 学校では、年明けからコロナ感染対策の強化を図っています。(裏面参照) 今後予定の行事等も変更が考えられますので、学校からの連絡にご留意ください。その他、ご心配な点は遠慮なくご相談ください。

「学校スナップ」



保健室を分割して使用します。
発熱などの症状で来室した場合、
ほかの子どもとの接触を避けるため、別のコーナーで対応します。

発熱を確認した場合は、保健室での長時間対応はできません。
すみやかに保護者に連絡して、迎えに来てもらうことによりしておりますので
御協力をよろしくお願いいたします。



左のマークは、校内で多くの人に触れる場所
(手洗い場や教室入り口など)に貼ってあります。

みんなで共有するポイントを確認することで、
こまめな手洗いや手指消毒への意識を
高めて欲しいと考えています。

学校では、上記以外にも「集会の取り止め」「手洗いチェック表」「校内消毒の回数増」など、
感染防止対策の強化に取り組んでいます。御協力をお願いいたします。

※ スナップに関する御意見や学校の思い出話など、遠慮無く学校までご連絡ください。
学校の毎日の様子や行事予定など、

「南小学校のホームページ」もどうぞご覧ください。